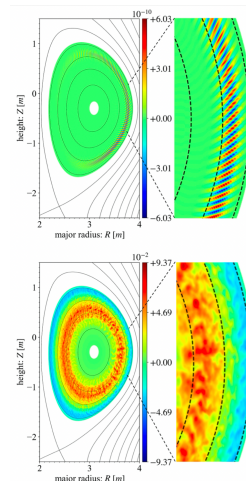


プラズマ・核融合学会誌

第99巻第7号

2023年7月

解説	ジャイロ運動論を用いた天体プラズマ乱流研究の進展	川面洋平	309
特集	ミュオン触媒核融合の新展開		
	1. はじめに	飯吉厚夫	319
	2. 新しいミュオン触媒核融合の理論の進展	山下琢磨, 木野康志	321
	3. 粒子およびエネルギー拡散長と定常ミュオン触媒核融合炉の寸法	佐藤元泰, 小林直人, 中谷伸, 藤田明希	327
	4. 圧縮性超音速流体のラム圧により μ CF 炉芯部を閉じ込める新しい概念	棚橋美治	331
	5. 小型高強度負ミュオン生成法とエネルギー効率	森義治	335
	6. μ CF 中性子による LLFP の核変換	山本則正, 佐藤元泰, 高野廣久, 飯吉厚夫	340
	7. まとめと今後の展望	岡田信二	344
講座	今更聞けない!? 磁場閉じ込めプラズマの微視的不安定性		
[補講ノート]	4. 捕捉電子不安定性	洲鎌英雄	346
	5. 電磁的イオン温度勾配不安定性と運動論的バルーニング不安定性	石澤明宏	356
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			365
インフォメーション			367
	ITER だより (100)		
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告 (84)		
本会記事			375
	学会ホームページ「会員専用ページ」パスワードのお知らせ		
	【こちら編集委員会です】		
	発表! 2022年下半期の学会誌(7~12月号)でもっとも多くダウンロードされた記事はこちら!		
編集後記			



表紙の絵

大域的ジャイロ運動論コードGKNETで計算されたJT-60SA ITER-like plasmaにおけるイオン温度勾配(ITG)不安定性. 上図は線形フェイズにおけるトロイダルモード数 $n=100$ 成分の静電ポテンシャル, 下図は非線形飽和後の静電ポテンシャル. 沿磁力線座標系の導入により, 非常に高い空間解像度を必要とする不安定性を効率的に計算することが可能となった.

(Shuhei OKUDA *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 18, 2403040 (2023) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先: 一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル2F Tel:(03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。